

# 研究課題「ホジキンリンパ腫における治療反応性と予後の実態調査と予後影響因子解析」に関する情報公開

## 1. 研究の対象

1986年1月から～2020年3月31日までに下記研究組織でホジキンリンパ腫と診断された方

## 2. 研究目的・方法

ホジキンリンパ腫は、アメリカや西欧諸国では若年成人の最も一般的な悪性リンパ腫で、悪性リンパ腫の30～50%を占めますが、本邦ではその1/5程度といわれています。過去の本邦におけるホジキンリンパ腫の報告によりますと、その治療に対する反応は欧米の報告よりも悪く、細分類の割合も若干異なっていると推測されます。ここで、本邦のホジキンリンパ腫の特徴を抽出するために、症例を集積し、その治療反応性、予後の評価を行う必要があると考えられ、そのことが本邦における難治性のホジキンリンパ腫の次なる治療を開発する上で助力になるものと考えられます。研究期間は2006年12月から2020年3月31日までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

発症年齢、性別、病歴、症状、検査データ、病理診断名、治療の効果、転帰、等

## 4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

## 5. 研究組織（既存試料・情報の提供のみを行う機関）

長野県立病院機構県立須坂病院遺伝子検査科・部長	浅野直子
愛知県がんセンター血液細胞療法部・部長	木下朝博
埼玉医科大学国際医療センター造血器腫瘍科・教授	新津 望
栃木県立がんセンター病理	平林かおる
群馬大学医学部附属病院血液内科・准教授	塚本憲史
豊橋市民病院血液腫瘍内科・医員	鈴木弘太郎
安城更生病院血液内科・部長	伊藤達也
一宮市立市民病院血液内科・診療部長	北村邦朗
富山県立中央病院血液内科・部長	吉田喬
岡山大学医歯薬学総合研究科 病理・病態学・教授	吉野 正
中国中央病院血液内科・部長	宮田明
香川県立中央病院中央検査部・病理	中村聡子
香川労災病院血液内科・部長	滝本秀隆
久留米大学医学部医学科病理学講座病理学2・教授	大島孝一
埼玉医科大学総合医療センター病理 教授	田丸淳一
亀田総合病院血液腫瘍内科 科長	末永孝生
聖マリアンナ医科大学血液腫瘍内科 教授	三浦偉久男
東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 教授	中村直哉

名古屋市立大学臨床病態病理学 教授	稲垣 宏
藤田保健衛生大学医学部血液内科 助教授	岡本昌隆
名古屋医療センター血液内科	永井宏和
三重大学第二内科 講師	山口素子
奈良県立医科大学病理診断学 助教授	中峯寛和

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65  
名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学  
TEL:052-744-2896

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学 中村栄男

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学 中村栄男